

平成 23 年 7 月 7 日

## 京都大学生存圏研究所専任教員募集要項

京都大学生存圏研究所  
所長 津田敏隆

京都大学生存圏研究所におきましては、下記により教員 2 名を募集しますのでご案内いたします。

### 記

1) 募集人員： 准教授または助教、計 2 名

助教の場合は任期 5 年（再任可、1 回限りとする。但し、特段の事情がある場合は、2 回目の再任を認める。）

2) 候補者に要請される専門研究領域および職務内容：

生存圏研究所では、生存圏を構成する宇宙圏、大気圏、森林圏、人間生活圏を研究の舞台とし、喫緊の重要課題として「環境計測・地球再生」、「太陽エネルギー変換・利用」、「宇宙環境・利用」、「循環型資源・材料開発」の 4 ミッションを推進しています。さらに、生存圏科学の新領域を開拓する努力を続けています。今回の公募では、生存圏科学ミッションにかかわる研究活動を基礎に、幅広く新しい研究テーマを開拓し、その遂行を目指す若手教員を募集します。新課題の具体例には、「バイオマス由来の生体防御物質」、「木質住環境と健康」、「千年居住圏の基盤と維持」、「大気質と安心・安全」などがあります（生存研 URL を参照）。

なお、生存圏研究所では、中核研究部に「生存圏診断統御研究系」、「生存圏開発創成研究系」、「生存圏戦略流動研究系（国内・外国人客員）」を設置しており、全ての教員がいずれかの研究系に所属して、生存圏科学に関する基礎研究を行うとともに、本学大学院（農学、理学、工学、情報学研究科）の協力講座の構成員として、学生に対する講義、実験・演習ならびに学位論文研究指導等の教育に貢献しています。さらに、大学附置全国共同利用研究所として、共同利用ならびに共同研究を推進するために、「開放

型研究推進部」と「生存圏学際萌芽研究センター」を組織し、教員を兼任配置しています。

今回採用する教員は、専門分野に従って中核研究部のいずれかの系・分野に所属して頂きます。同時に、生存圏学際萌芽研究センターの兼任教員として新課題の研究に従事し、さらに、共同利用・共同研究拠点としての運営に積極的に参加して頂きます。

3) 応募資格：着任時に博士の学位を有する者。国籍は問いませんが、日常的に日本語が使えることが望ましい。

4) 募集方法：公募

5) 任用時期：平成23年10月1日以降、可能な限り早い時期

6) 応募書類：

申請書（カバーレター）に、准教授あるいは助教のうち希望する職種を明記し、以下の書類を同封すること。

(ア) 履歴書（高卒以降、写真貼付、書式自由、連絡先を明記）

(イ) 研究業績リスト（原著論文、総説、著書、国際会議プロシーディングス、その他）。なお、主要な研究論文5編以内に○印をつけること。

(ウ) 全ての原著論文、および重要な総説、著書、国際会議プロシーディングス等の別刷りまたはコピー（執筆部分）

(エ) 外部資金の取得状況

(オ) 国内外の活動実績リスト。（国際会議での発表、海外との共同研究、所属学協会、研究会運営など）

(カ) これまでの研究概要および学術活動（3,000字程度）

(キ) 今後の研究・教育の計画、抱負（3,000字程度）。生存圏科学ミッションに関する新しい研究テーマの開拓に関する取組みを重点的に述べること。

(ク) 応募者について意見を伺える方（2名）の氏名・所属・連絡先または推薦書

（なお、応募書類は特に申し出のない限り返却しませんのでご了承ください）

7) 選考方法：書類による審査の後、面接をすることがあります。

8) 募集期間：平成23年7月7日～8月19日（金曜）（必着）

9) 男女共同参画： 今回の公募では、男女共同参画の促進を目指し、女性研究者を優先的に採用します。但し、男性研究者の応募も受け付けます。

10) 書類の提出先：

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学生存圏研究所担当事務室 気付  
教員候補者選考委員会宛

(表に「教員応募書類在中」と朱書し、郵送の場合は簡易書留とすること)

11) 問合せ先：

京都大学生存圏研究所

教員候補者選考委員会委員長 津田 敏隆

電話：0774-38-3804、E-mail：tsuda@rish.kyoto-u.ac.jp

参照 URL：生存圏研究所 (<http://www.rish.kyoto-u.ac.jp>)

生存圏科学の新領域開拓

([http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/etc/Boshu\\_20110707a.html](http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/etc/Boshu_20110707a.html))